

1 大きな公共を担う活力ある地域社会づくり

(6)	中間支援組織の活用	<取組所管> ・取組①～④：局・室 ・取組⑤：区
-----	-----------	--------------------------------

□ 3年間の取組と成果の総括

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会づくりに向けた地域の取組の支援にあたって、中間支援組織と連携し情報共有を行いながら、地域活動協議会等への支援として、中間支援組織の紹介、中間支援組織と連携したまちづくり支援員の派遣、ワークショップの開催等を行い、地域の実情や特性に応じた支援ができるよう取組を進め、中間支援組織を効果的に活用する仕組みを構築することができた。</li> <li>・効果的な地域支援を行うため、公募型プロポーザルにより中間支援事業者を選定し、さらに各区の地域実情に応じた地域支援とするため、局から区役所に事業移管を図った。</li> <li>・区役所職員と中間支援組織による支援内容を整理するなど、地域担当職員に対して中間支援組織の活用についての意義、役割等の理解度を深めるための方策や具体的な活動事例の情報発信について、支援を行った。</li> <li>・これらは各区における自律した地域社会づくりを支援する取組において機能している。</li> </ul>
---

□ 3年間の取組状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度に、市民活動団体において、中間支援組織を効果的に活用してもらうため、区役所職員と中間支援組織による支援内容を整理し、市民活動団体への説明に資するよう、区役所に提示した。 <b>(取組①)</b></li> <li>・平成24年度及び平成25年度に、市民活動団体の中間支援組織への理解を深めてもらうため、中間支援組織の専門分野を調査し、テーマごとに整理するとともに市民活動団体と中間支援組織との連携事例を収集し、これらの情報を市政改革室ホームページなどに掲載した。<b>(取組②)</b></li> <li>・平成24年度及び平成25年度に、効果的な地域支援を行うため、公募型プロポーザルにより中間支援事業者を選定した。<b>(取組③)</b></li> <li>・さらに、平成25年度に、各区の地域実情に応じた地域支援とするため、局から区役所に事業移管を図った。<b>(取組③)</b></li> <li>・平成24年度に、中間支援組織との連携の観点から、区役所庁舎の提供のあり方について関係局と協力して整理した。<b>(取組④)</b></li> <li>・平成25年度に、地域活動協議会自らが中間支援組織を活用しやすいよう、平成26年度からの運営費補助制度を見直した。</li> </ul> <p>※取組⑤については、次ページ（各区の状況）を参照。</p> <p><b>【取組の実施状況】</b> 取組①：A、取組②：A、取組③：A、取組④：A、取組⑤：A 24区</p>
--

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
中間支援組織による支援を必要とする団体のうち、適切な中間支援組織による支援を受けることができる環境が整備されていると感じている団体の割合	平成26年度 各区平均 71.7% (各区内訳) 30%台 1区 50%台 2区 60%台 7区	①
平成26年度までに60%以上	70%台 6区 80%台 6区 90%台 2区	

□ 課題と今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間支援組織の活用については、今後も、区役所が主体となって取り組むことになるが、各区での取組が効果的に行えるよう、引き続ききめ細やかに支援していく。<b>(取組①②)</b></li> </ul> <p>※取組⑤については、次ページ（各区の状況）を参照。</p>
---

【評価区分の凡例】

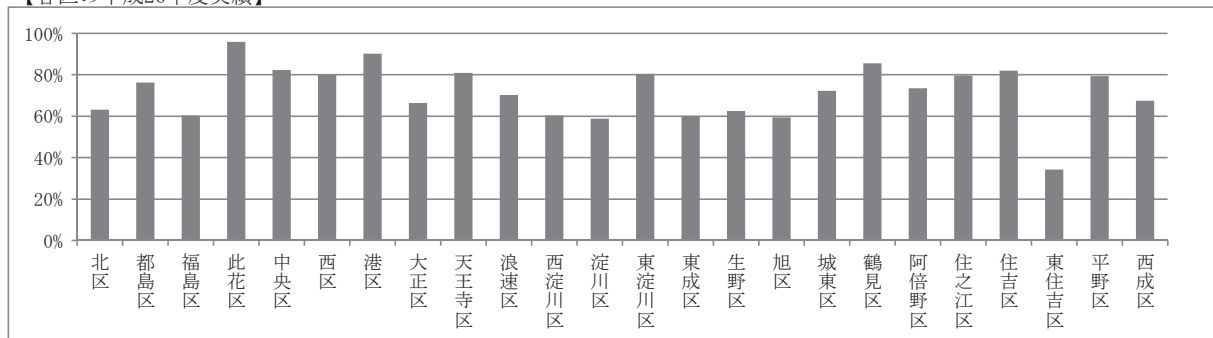
〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった  
〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

## 1(6) 中間支援組織の活用

(取組⑤)

【目標(A)】中間支援組織による支援を必要とする団体のうち、適切な中間支援組織による支援を受けることができる環境が整備されていると感じている団体の割合  
平成26年度までに60%以上

【各区の平成26年度実績】



	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
北区	⑤	・中間支援組織が地域活動の活性化に向けたさまざまな支援策に取り組んだことで、地域の意義や行動は自律的運営に対して前向きになっている。	A	63.1%	105.2%	①	・中間支援組織のさまざまな支援を地域活動の発展につなげていく。
都島区	⑤	・中間支援組織の紹介 ・中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣 ・地域公共人材の意義、役割等の説明および啓発 ・運営委員会への出席 ・各地域の会議、行事、学習会、準備会へ出席 ・各地域で補助金、会計事務等の説明会を実施 ・中間支援組織と連携し、地域の若い担い手対象の講演会・ワークショップを開催	A	76.2%	127.0%	①	・中間支援組織は活用されているものの、地域の自律した運営には至っていない。 ・引き続き自律した運営に向けた支援を行う。
福島区	⑤	・中間支援組織と連携し、日常的に地域活動協議会の自立運営にむけた支援に取り組んだ。	A	60.4%	100.7%	①	・目標を達成できているため、引き続き取組を進める。
此花区	⑤	・各地域活動協議会の地域課題に対する取組に、中間支援組織が地域事情に合った支援を実施した。	A	95.9%	159.8%	①	・地域活動協議会はさまざまな団体が協力しながら地域課題を自ら解決する団体として設置されたが、その取組が区民に浸透するには時間を要すると思われることから、今後も中間支援組織等を活用しながらそれぞれの地域活動協議会が各団体等の連携により特色ある地域独自の取組を進めていけるよう支援する。

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
中央区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会の形成に向けた支援を行った結果、区内全地域において地域活動協議会が形成された。</li> <li>・中間支援組織に関する情報を区広報紙に掲載した。</li> <li>・「まちセンニュース」を各地域集会所に配架することにより、中間支援組織に関する情報を地域に提供した。</li> </ul>	A	82.3%	137.2%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的な地域運営を実現するため、多様な活動主体のネットワークの拡充に向けた取組を支援していく。</li> </ul>
西区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間支援組織が、区役所とともに各地域の諸会合に参加し、規約や組織整備などの支援を進め、全ての地域で地域活動協議会を設立することができた。また、組織運営や適正な資金管理等を支援した。</li> <li>・それぞれの地域ニーズに合ったきめ細かな支援を行うため、中間支援組織の支援員を地域の拠点場所に積極的に配置した。</li> </ul>	A	80.0%	133.3%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会は、それぞれの地域特性に応じて様々な課題を抱えていることから、引き続き中間支援組織を活用し、ニーズに対応したきめ細かな支援を行っていく。</li> </ul>
港区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間支援組織の意義・役割について、地域活動協議会に対して説明を実施するとともに、区広報紙で周知した。</li> <li>・まちづくりセンターを活用しながら「港区まちづくりフォーラム」や「港区防災フォーラム」の開催、地域活動協議会の形成支援を実施した。</li> <li>・まちづくりセンターを活用し、コミュニティ・ビジネス研修会を開催し、他地域における事業等を紹介した。また、ホームページ、フェイスブック制作を中心とした広報研修会を開催した。</li> <li>・地域活動協議会の話し合いの場において、幅広い住民参画の促進や新たな担い手の発掘や育成、団体間の連携・協働、自律的な組織運営や会計の透明性、法人化に向けた取組促進など、さまざまな活動・運営に関する課題について、まちづくりセンターを活用して助言や指導、コーディネート等を行った。</li> </ul>	A	90.1%	150.2%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会が自律的で開かれた運営ができるよう、地域活動の担い手の発掘・育成、地域住民に対する活動計画や会計の広報の充実など、まちづくりセンターを活用して支援を行う。</li> </ul>
大正区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間支援組織を通じて各地域の状況や取組について緊密に情報交換を行うなど、連携しながら地域を支援した。</li> </ul>	A	66.4%	110.7%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標が達成されており、今後も引き続き、同様に支援を行っていく。</li> </ul>
天王寺区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間支援組織と連携し、地域活動協議会が取り組む大きな公共を担う公共の事業や地域活動への必要な支援を行った。</li> </ul>	A	80.9%	134.8%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き中間支援組織と連携して地域活動協議会へ必要な支援を行う。</li> </ul>
浪速区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計事務説明会において、会計マニュアルや透明性の確保など説明するとともに、帳簿・領収書の整理方法などの会計支援を行った。</li> <li>・各地域活動協議会による「地域だより」の発行、ブログの製作支援を行った。</li> </ul>	A	70.2%	117.0%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の成熟度に応じた支援を継続する。</li> </ul>
西淀川区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会から要望のあったテーマなどに関する研修会を行うなど、中間支援組織による地域活動協議会への支援を進めた。</li> </ul>	A	60.4%	100.7%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会が望む内容の勉強会などについて今後も中間支援組織が中心となって実施するとともに、情報発信に取り組みたい。</li> </ul>
淀川区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間支援組織による会計講座や広報講座等の専門講座・出前講座、会計個別指導、交流会、個別事業支援、マッチング等を行った。</li> </ul>	A	58.8%	98.0%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性及び地域の状況に応じたきめ細やかな個別支援が必要である。</li> <li>・地域担当者の地域支援スキル向上を行い、アウトリーチ型個別支援の充実を図る。</li> <li>・地域担当者と中間支援組織との連携を強化することで、地域特性に応じたきめ細やかな支援を行う。</li> </ul>

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
東淀川区	⑤	・中間支援組織と地域活動協議会、そして行政が連携をより密接にし、地域のニーズを確認してきた。	A	80.5%	134.2%	①	・平成27年度にはまちづくりに関する専門知識を持つ「地域づくりアドバイザー」を活用し、コミュニティ・ビジネス/ソーシャル・ビジネスの助言や指導、NPO法人化に向けたより専門的な支援を行う。
東成区	⑤	・各地域の実情に応じた地域運営に取り組む地域活動協議会への運営を、中間支援組織を活用して支援した。	A	60.0%	100.0%	①	・引き続き、各地域活動協議会や地域団体に対し、それぞれの地域実情に応じた中間支援組織の支援が行われるよう取り組む。
生野区	⑤	・会館活用ワークショップ、地域まちづくり勉強会の開催 ・地域活動協議会の事務局機能の確立に向けて総会開催や会計など勉強会（会計・広報）の開催	A	62.5%	104.2%	①	・地域活動協議会の自律運営や会計透明性確保に対する事務作業の負担感が大きい。 ・地域活動協議会の事務レベルに差がある。 ・中間支援組織を活用し、地域特性や実務者のスキルに応じて、きめ細やかな支援を行う。
旭区	⑤	・全10地域において、中間支援組織のサポートのもと地域活動協議会を形成した。 ・地域活動協議会における会計の透明性確保、開かれた組織運営を支援するための学習会を行った。	A	59.4%	99.0%	①	・関係局と協議し、対応を検討していく。 ・区まちづくりセンター、区社会福祉協議会、コミュニティ協会旭区支部等との定期的な情報共有等が必要。
城東区	⑤	・中間支援組織と情報共有しながら、地域実情や特性に応じた支援ができるよう取り組んだ。	A	72.3%	120.5%	①	・引き続き支援員などを通じて地域ニーズに見合った支援を行う。
鶴見区	⑤	・各地域を担当する地域担当職員を配置し、中間支援組織と連携し地域活動への参画・団体の自律的な活動に向けた支援を行ってきた。	A	85.5%	142.5%	①	・区内全地域で地域活動協議会は設立されているが、引き続き自律的な地域運営の定着化を図る必要がある。
阿倍野区	⑤	・中間支援組織の支援を受ける環境整備を行い、地域団体の必要に応じて、会計サポート講座・広報サポート講座を開催した。	A	73.4%	122.3%	①	・今後も中間支援組織による会計サポート、広報サポートを実施するなど、活動に役立つ支援を行う。
住之江区	⑤	・中間支援組織を効果的に活用する取組について、運営方針に取組内容及び目標を定め、取組を進めた。 ◆より一層の民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保が重要であることから、引き続き中間支援組織とともに、地域団体における組織運営や会計運営などに関する支援を行う。 ◆地域課題を区民の皆さんが自主的に解決できる体制づくりとして「地域の未来像を語り合う懇談会」を開催し、その運営について中間支援組織及び区役所地域担当職員が支援する。 ◆中間支援組織を活用して、地域団体の組織活性化や地域活動協議会の法人化に向けた取組などを、積極的に各地域の実情に応じ支援する。 ◆「企業・NPO・学校・地域交流会」を開催し、地域活動協議会への理解と参画を促す。	A	79.7%	132.8%	①	・中間支援組織による自立した地域運営に向けた担い手の発掘・活用、資源の確保・情報提供、団体間の連携促進などの支援が必要である。 ・今後は地域活動協議会を中心とした自律的な地域運営の実現に向け、支援していく。

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
住吉区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域活動協議会が開催する事業や会議について積極的に支援・参加し情報発信するとともに、組織運営面においても、特に会計面では地域の会計担当者が円滑な事務処理を行うことができるよう、雛形の提供や丁寧できめ細かな説明を行った。</li> <li>・地域情報の聴き取りを行い、日常的に区との情報共有を図っている。また、『地域編集塾』開催による地域課題の把握に努めている。さらに、クラウドファンディング説明会の開催により新たな手法による自己資金の獲得法の周知や多様な活動主体との連携を促した。経常的に構成団体が開催する会議にも積極的に出席し、会計処理や税務処理についてきめ細かい支援を行った。</li> </ul>	A	81.9%	136.5%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果は目標数値も中間評価数値も上回った結果となったが、各地域活動協議会のキーパーソンを中心とする評価となっているため、今後はさらに広範囲の方々へ評価されるよう期待する。</li> <li>・『地域編集塾』で確実に成果物を作り上げることが現状の課題であり、新たな担い手の育成やボランティア・NPO・企業との協働も可能になると考える。</li> <li>・まちづくりセンターを積極的にPRしていくことは地域活動協議会の認知度を上げることにもつながるので広報活動に力を注ぐことが必要である。</li> <li>・区役所地域担当としては、まちづくりセンターの地域における信頼度や活動・支援実績、今後の取組内容を充分評価しており連携しながら地域活動協議会の自律的運営を支援していく。</li> </ul>
東住吉区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年7月以降、地域活動協議会の担い手を対象に、中間支援組織を通じて、地域の要望・実情に応じた会計・事業計画・広報等の実務面の研修の実施、地域活動に従事する人たちが参加する交流や意見交換の場の提供等を行い、地域活動の担い手の知識・技術の習得・向上に取り組んだ。</li> </ul>	A	34.3%	57.2%	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会への支援を的確に行うには、地域のニーズや課題を十分に把握する必要があることから、中間支援組織を通じて、より一層地域ごとの情報収集や相談業務に取り組む。</li> </ul>
平野区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区運営方針に地域活動協議会をはじめとする地域による自主的なまちづくりの推進に向けた具体的な取組内容や目標を設定し、取り組んできた。また、地域活動を支えるかなめである区役所内に平野区まちづくりセンター支部（中間支援組織）を設置し、同支部と連携して地域実情や特性に応じた支援を行い、全地域への地域活動協議会の設立につなげるとともに、その専門的な知識を活用し、会計面や広報面など、支援を継続的に行った。</li> </ul>	A	79.4%	132.3%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な中間支援組織による支援を受けることができる環境が整備されていると感じている団体の割合が年々高まっていることから、平成27年度区運営方針においても、経営課題「こどもと地域を元気にするまちづくり」において「地域活動力の向上」という課題を設定し、地域の自立的な活動への支援に向けて具体的な取組内容や目標を設定し、平野区まちづくりセンター支部（中間支援組織）の保有する専門的スキルやノウハウを活用しながら地域とさらに連携を深め、地域活動協議会が「地域の住民が主体のつながるまちづくり」に取り組むための体制づくりへの支援を行う。</li> </ul>
西成区	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度から中間支援組織では、まちづくり支援員の担当地域を決めて、地域事情に応じた支援を行ってきた。</li> </ul>	A	67.5%	112.5%	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所として中間支援組織を活用し、活動主体間の連携・協働に向けて地域ニーズの把握を行うとともに、各地域の現状や課題をふまえながらニーズに応じた情報提供や意見交換の場の設定を行っていく。</li> </ul>

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった